

令和7年8月

各 位

八戸市東京事務所長

八戸レポートの送付について

時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和7年8月号」をお送りいたしますので、御高覧くださいますようお願いいたします。

サッカーJ3 ヴァンラーレ八戸の勢いが止まりません。7月26日には、ホームでガイナレ鳥取と対戦し、3-2で逆転勝利。チーム記録を更新する6連勝を達成し、参入7年目にして初の首位に浮上しました。3週間の中断期間を経て8月16日に行われたアウェーでのAC長野パルセイロ戦にも1-0で勝利し、クラブ記録を7連勝に更新。通算成績は15勝4分け4敗、2位との勝ち点差も4に広げ、J2自動昇格圏内の首位をキープしています。

また、J3リーグ7月度の月間優秀監督賞に石崎信弘監督が、月間MVPにはFWの澤上竜二選手がそれぞれ選出されました。

ヴァンラーレ八戸の熱い戦いはまだまだ続きます。J2昇格に向け、「全緑」でチームを応援しましょう。

▼ヴァンラーレ八戸オフィシャルサイト

<https://vanraure.net/>

◎皆様へのお願い

所属、役職、連絡先などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-2 全国都市会館 5階

電話 03-3261-8973 / FAX 03-3239-6723

E-mail tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

八戸 8月号 レポート

令和7年7月の八戸市内での出来事や
八戸市に関連する情報をお届けします。

【行政】

記事	概要
(1)	八戸市 多文化共生プラン策定へ 外国人や企業に調査実施
(2)	学生向けバスツアー 物流現場 間近に体験
(3)	八戸市 省庁関係者に施策を説明
(4)	八戸市立図書館で朝活を 開館2時間前倒し ラジオ体操し読書
(5)	デジタルスタンプラリー「ハチノハウォーカブル」 まち歩きで祭りや名所PR
(6)	八戸市と滝沢小児科 新事業開始 子どもの急病時、看護師ら送迎

【産業】

記事	概要
(7)	漁業の仕事、船上でアピール 児童生徒向け、八戸で初授業
(8)	太陽印刷（八戸）三社大祭山車、キーホルダーに
(9)	「朝の八甲田」が復活 7月29日開店の洋菓子店で取り扱い
(10)	眺めて食べて「ひなび」堪能 JRの観光列車、八戸－久慈間運行
(11)	八戸生まれの船でキウイ運搬 北日本造船、ゼスプリ日本法人などへ引き渡し

【地域】

記事	概要
(12)	八戸でトレイルウォーク 風光明媚 種差満喫
(13)	八戸七夕まつり 華やか吹き流し 街彩る
(14)	NHK杯全国高校放送コンテスト アナウンス部門 榎本さん（ウルスラ3年）優勝
(15)	新丁夜店の後継イベント 小中野祭り 通りに明かり再び
(16)	竹内さん（八戸高専2年）デジタル書道研究 最高賞 CGの国際会議で

【文化・スポーツ】

記事	概要
(17)	是川縄文館 来館者40万人達成
(18)	馬渡さん（八戸卓球アカデミー）知的障害者の卓球全国大会 シングルス初V
(19)	南郷サマージャズフェスティバル2025開催
(20)	ポケモンの世界、多様に表現 市美術館で工芸展

【行政】

記事	
(1)	<p>八戸市 多文化共生プラン策定へ 外国人や企業に調査実施</p> <p>八戸市は7月3日、有識者らによる多文化共生推進審議会の初会合を開き、外国人住民と地域住民の相互理解を促し協働のまちづくりを目指す多文化共生推進プランの策定に着手した。県が昨年3月に同様のプランを策定したが、県内市町村では初となる。プランに盛り込む重点施策の検討に当たり、インターネットによる調査を7～9月に実施。市在住の外国人や雇用企業などを対象にニーズや課題を探り、結果も踏まえて本年度末に取りまとめる。市在住外国人は10年前の約2倍以上に増加しており、5月末時点で過去最多を更新する1,835人。</p>
(2)	<p>学生向けバスツアー 物流現場 間近に体験</p> <p>八戸市は7月3日、八戸地域の物流関連企業について知ってもらおうと、学生向けのバスツアーを初めて開催した。物流関係者で構成する八戸地域物流問題懇談会で、地域の学生に八戸市が物流拠点であることを知ってもらいたいとの意見が上がっていたことを受け、特化したツアーを組んだ。物流関係の業種を将来の選択肢としてもらうことも見据える。参加した八戸学院大地域経営学部の学生約20人は、八戸貨物駅や八戸港コンテナターミナル、倉庫などの現場を間近で見学しながら、物流の現状を学んだ。</p>
(3)	<p>八戸市 省庁関係者に施策を説明</p> <p>八戸市は7月16日、市にゆかりのある中央省庁関係者との意見交換会を都内で開き、熊谷市長が市の施策などを説明した。熊谷市長は、中心市街地活性化の取組や産業集積に向けた事業などを紹介。産学官の連携による陸上養殖事業が本格的にスタートしたことなどを報告した。また、省庁関係者と市幹部らの懇談も行われ、出席した約40人が市政について意見を交わした。</p>
(4)	<p>八戸市立図書館で朝活を 開館2時間前倒し ラジオ体操し読書</p> <p>八戸市立図書館は7月17日、新たな利用者の獲得や図書館利用の促進を目的に、開館時間を早める「朝活図書館」を初めて実施した。同館は、定期的な休館日導入に向けた試行を実施しており、10月14日まで毎週火曜日に休館。休館日導入による利用者への影響を考慮し、サービス向上のため、開館時間を通常の午前9時から7時に早める「朝活図書館」の実施を決めた。この日訪れた市民らは、開館10分前から隣接する長者緑地でラジオ体操を行い、すがすがしい汗を流した。出勤前の会社員など普段図書館を利用しない層にもアプローチしたい考え。</p>
(5)	<p>デジタルスタンプラリー「ハチノハウォーカブル」 まち歩きで祭りや名所PR</p> <p>八戸市の旧柏崎小跡地に整備を進める広場の活用に向け、市は7月18日、デジタルスタンプラリー「ハチノハウォーカブル」の運用を開始した。八戸三社大祭の山車制作展示施設を備えた同広場を含む2種類の散策コースを設定しており、まち歩きしながら八戸と祭りの魅力を知ってもらうことで、中心街のにぎわい創出を目指す。スマートフォンなどで専用サイトにアクセスして利用。コースに設定されている八戸の名所などのチェックポイントを訪れると、場所や祭りに関する説明を動画で視聴することができ、GPSを利用してデジタルスタンプがたまる仕組み。コースごとに全てのスタンプを収集できると、記念品がもらえる。</p>

(6)	八戸市と滝沢小児科 新事業開始 子どもの急病時、看護師ら送迎
	八戸市は8月1日から、保育施設や小学校などで発熱といった急な体調不良となった子どもを、保護者に代わって看護師や保育士らが迎えに行き、病児保育室で預かるサービスを始めた。子育て世帯の仕事と家庭の両立支援が目的で、青森県内の自治体としては初めての取組だという。市内で唯一病児保育室を備える滝沢小児科内科医院と市が協議を重ねてきた。対象は、市内の保育施設等に入所・通学している0歳6か月～小学6年生で、1年以内に同院もしくは同院の「病児保育室ひまわり」を利用し、病児・病後児予約システムに登録済の子ども。利用料は無料だが、病児保育利用料1,500円は利用者負担。

【産業】

記事	概要
(7)	漁業の仕事、船上でアピール 児童生徒向け、八戸で初授業
	漁船漁業の担い手確保に向け、児童・生徒に漁業への理解を深めてもらうイベント「船と漁業を知る授業」が7月12日、八戸港で開かれた。全国漁業就業者確保育成センター（東京）の主催で、八戸市では初開催。県内外の小中学生や水産高校生ら約160人が参加した。船の見学会では、大型サンマ棒受け網船や大中型巻き網船、県立八戸水産高校の実習船などを公開。高校生向けに就業ガイダンスも行われ、県内外の漁業会社9社がブースを設け、漁の年間スケジュールや操業風景を動画で紹介するなど、将来の仕事として漁業を選んでもらえるよう魅力をアピールした。
(8)	太陽印刷（八戸）三社大祭山車、キーホルダーに
	八戸市の太陽印刷は7月24日、八戸三社大祭に参加する27の山車組の山車と、はちのへ山車振興会が共同制作した移動型山車を表したアクリルキーホルダー全28種類を製作し、カプセルトイとして発売した。グループ会社のアサヒ印刷（弘前市）が展開するご当地カプセルトイ「ごっちゃ」のシリーズ。大きさは縦横約4cmで、昨年までに祭りで披露された山車がデザインされている。価格は税込み500円で、売り上げの1割が同振興会に支援金として寄付される。「はっち」1階のカネイリミュージアムで購入できる。
(9)	「朝の八甲田」が復活 7月29日開店の洋菓子店で取り扱い
	八戸市南類家に7月29日、洋菓子店「Le un;（ル アン）」南類家店がオープンした。3月末で事業停止した同市の洋菓子店「アルパジョン」の店舗を、ル アンの運営会社「和（なご）みの治（はる）」が買い取り、改装した。同社はアルパジョンの看板商品だったチーズケーキ「朝の八甲田」の著作権を所有しており、復活を望む消費者の声に応え、主力商品として展開していく。「ル アン」はウピア店を5月28日に開店。8月以降に八食センター店をオープンしたい考え。
(10)	眺めて食べて「ひなび」堪能 JRの観光列車、八戸－久慈間運行
	JR東日本盛岡支社は7月31日、昨年に引き続き「はづのへハラツチェ ひなび」と題し、八戸線八戸－久慈間で観光列車「ひなび（陽旅）」を運行した。前日に発令された津波警報と各自自治体の避難指示の解除を受けた後、安全を確認して実施。八戸駅の出発式では、霽神社法霊神楽保存会が歯打ちを披露し、八戸市公式キャラクター「いかずきんズ」や関係者らが旗や手を振って見送った。車内では、八戸日本料理業芽生会監修による弁当が提供され、乗客は沿線の風光明媚な景色を堪能しながら舌鼓を打った。

(11)	八戸生まれの船でキウイ運搬 北日本造船、ゼスプリ日本法人などへ引き渡し
	八戸市の北日本造船は7月31日、同社で新造した冷凍運搬船の命名引き渡し式を開き、船主の海上運送業「フレッシュキャリアーズ」（東京）と、荷主の「ゼスプリインターナショナルジャパン」（同）の関係者らが新たな船の誕生を祝った。主にニュージーランドからゼスプリ社のキウイを運ぶ。新造船は、従来より大型で－25℃までの最新の温度管理システムを備え、温室効果ガスを抑制する新型エンジンを搭載し、環境配慮にも優れた仕様。キウイを日本に運ぶ約2週間の内に高品質を維持するため、正確な温度管理が可能な冷凍運搬船を新造できるのは、現在北日本造船を含め世界で2社しかないという。

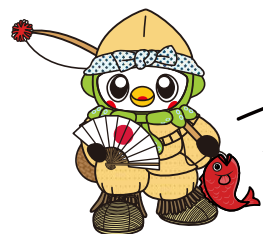
【地域】

記事	概要
(12)	八戸でトレイルウォーク 風光明媚 種差満喫 八戸市から福島県相馬市までの太平洋沿岸を結ぶ全長約1,000kmの長距離自然歩道「みちのく潮風トレイル」のウォークイベントが7月6日、八戸市で開かれた。県内を中心に12都府県から参加した594人が、蕪島海浜公園をスタートする長距離（8km）と葦毛崎展望台から始まる短距離（5km）の2つのコースに分かれ、ゴールの種差天然芝生地まで、風光明媚な景観を満喫した。また、アイドルグループ「りんご娘」のピンクレディさんもゲスト参加し5kmを踏破したほか、開会式にはポケモンの人気キャラクター「ピカチュウ」が登場し、イベントを盛り上げた。
(13)	八戸七夕まつり 華やか吹き流し 街彩る 夏の風物詩「第73回八戸七夕まつり」が7月18日～20日、八戸市中心街で開かれた。今年は初めて十三日町交差点付近に「七夕やぐら」を2台設置し、大型飾りが一部復活。市民らが色鮮やかな吹き流しの下をくぐったり、写真撮影を楽しんだりした。また、市民参加型で小型の「ストリート七夕飾り」は、マチニワも含めて135個が並んだ。歩行者天国となった中心街では、ダンスやバンド演奏などのステージイベントや多彩な出店が並び、多くの市民でにぎわった。
(14)	NHK杯全国高校放送コンテスト アナウンス部門 榎本さん（ウルスラ3年）優勝 放送部などで活動する全国の高校生たちが、アナウンスや番組制作などの技術を競う「NHK杯全国高校放送コンテスト」の決勝が7月24日、都内で行われ、アナウンス部門で八戸聖ウルスラ学院3年の榎本杷留（はる）さんが優勝した。同部門での青森県勢の優勝は1990年以来、35年ぶり。今年で72回目となるコンテストには都道府県予選を含め、6部門に1,357校、12,551人が参加した。同じく、アナウンス部門で八戸高校3年の小山田麗菜さんが優良賞を受賞した。
(15)	新丁夜店の後継イベント 小中野祭り 通りに明かり再び 100年余りの歴史に幕を下ろした八戸市小中野地区の「新丁夜店」が7月25、26日夜、「小中野祭り」に生まれ変わって復活した。地元の有志らでつくる「小中野おやじの会」が立ち上がり、予算不足や人材難が課題だった運営体制を再構築し開催にこぎ着けた。歩行者天国となった新丁通りには、地元飲食店の露店やキッチンカーなどが並び、祭りが開幕すると子ども神輿の運行や左比代虎舞、下組町山車組のお囃子が会場を盛り上げた。通りには途絶えかけた明かりが再びとまり、初日から多くの人でにぎわった。

(16)	竹内さん（八戸高専2年）デジタル書道研究 最高賞 CGの国際会議で
	コンピューターグラフィックスに関係する研究の国際会議「NICOGRAPH International 2025」で、八戸高専産業システム工学専攻2年の竹内開徒さんが、ポスター発表部門で最高賞の「ベストポスター賞」に輝いた。受賞は同校始まって以来の快挙。竹内さんは、電気を通す繊維を巻き付けた筆と水を使ってタブレットに文字を書くことで、疑似的に書道を体験できるシステムを共同で研究。とめ、はね、はらい、かすれなど筆で書いたような筆跡描画を追求し、使い心地のアンケートも実施した。出場者の大半が大学院生の中、唯一の高専専攻科生として臨み、栄誉を手にした。

【文化・スポーツ】

記事	概要
(17)	是川縄文館 来館者40万人達成 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館は7月10日、来館者が40万人に到達し、記念セレモニーを開いた。開館当初の来館者は年平均約25,000人で推移。是川石器時代遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録された2021年は、コロナ禍で登録効果が限定的だったが、近年は23年度に過去2番目に多い33,596人を記録するなど、国内外からの関心が高まっている。この日はちょうど、11年のオープン日。セレモニーでは、40万人目の来館者となった広島市の山根英昭さんに、中村館長から同館のオリジナルグッズが贈られた。
(18)	馬渡さん（八戸卓球アカデミー）知的障害者の卓球全国大会 シングルス初V 神奈川県藤沢市で7月12、13日の両日、知的障害者卓球の日本一を決定する「パラIDジャパン・チャンピオンシップ卓球大会2025」が行われ、一般の部女子の馬渡伊吹さん（八戸卓球アカデミー所属）が、シングルス初優勝とダブルス2連覇を果たした。特にシングルスでは、パリパラリンピック金メダリストと銅メダリストを打ち破る活躍。28年開催予定のロサンゼルスパラリンピックを目指す。
(19)	南郷サマージャズフェスティバル2025開催 「第33回南郷サマージャズフェスティバル2025」が7月26日、八戸市南郷のカッコーの森エコーランドで開かれた。今回は八戸市と旧南郷村の合併20周年を記念。オープニングには市立中沢中ジャズバンド部、南郷を拠点にするスウィングベリージャズオーケストラが出演し会場を盛り上げた。ロックバンドandropのボーカル内澤崇仁さんやトランペッターの類家心平さん、ピアノの中嶋錠二さんといった同市出身のアーティストなどが多数出演。次々に登場するミュージシャンらの真夏の熱いステージに、集まった1,210人のファンは酔いしれた。
(20)	ポケモンの世界、多様に表現 市美術館で工芸展 八戸市美術館で「ポケモン×工芸展—美とわざの大発見」が開催されている。2023年から国内外を巡回してきた人気の企画展で、北海道・東北エリア初開催。今回は初公開の新作を加えた約90点を展示。着物や蒔絵といった日本の伝統とのコラボはもちろん、金属加工など最新技法で作り上げられたポケモンなど、日本を代表する工芸作家20人が多種多様な素材、技法で表現したポケモンの世界観を堪能することができる。8月31日まで開催。



企業版ふるさと納税の3つの魅力



『企業版ふるさと納税』の案内

『企業版ふるさと納税』で八戸を応援！

八戸市では「まち・ひと・しごと」に関する事業を推進しており、応援していただけるみなさまの気持ちを、八戸市のまちづくりに活かしていきたいと考えています。ぜひこの機会に「企業版ふるさと納税」へのご協力をお願いいたします。

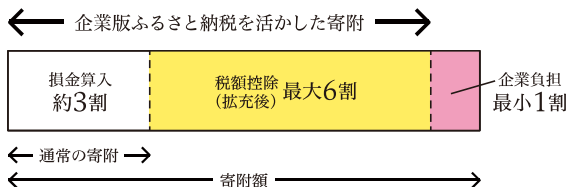


1 税制上の優遇が受けられる

損金算入による軽減効果(寄附額の約3割)と合わせて、税額控除(寄附額の最大6割)により、最大で寄附額の約9割が軽減されます。

2 社会貢献

SDGsやESGへ寄与できます。



3 自社PR

ご寄附をいただいた企業様を八戸市HPとSNSでご紹介いたしますので、企業様のPRに繋がります。

申込み方法

電話

メール

二次元バーコード

申込み・お問合せ先

政策推進課

企業版ふるさと納税担当

TEL:0178-43-9233

Email:seisaku@city.hachinohe.aomori.jp



[寄附受付事業]

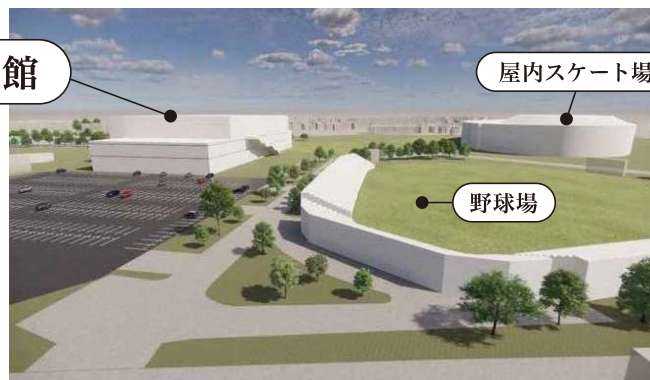
●新体育館の建て替え

スポーツやイベントなど、市民の多様な活動の場として、年間約37万人に利用されています。竣工から半世紀以上経過していることや、時代の移り変わりとともに変化する多様なニーズに応えるため、計画的に準備を進めています。

新体育館

屋内スケート場

野球場



●八戸市の魅力発信

八戸市のマスコットキャラクター「いかずきんズ」や公式SNSなどを活用して、当市の魅力を広く発信しています。

魅力を発信することで

- ◎市民の地元に対する愛着や誇りを醸成したい。
- ◎国内外の人々の当市への関心を高めたい。
- ◎交流人口や定住人口の創出・拡大につなげたい。



●八戸産ぶどうを活用したワイン産業振興

農業振興のみならず、商工業や観光業にも繋がる「ワイン産業」の振興を目指しています。

●創業・事業継承の支援拠点運営

創業及び事業継承の支援拠点を設置し、専門家による相談対応やセミナー開催等により、創業希望者等を支援しています。

●八戸市ブックスタート事業

八戸市在住の赤ちゃんとその保護者を対象に、おすすめブックリストや絵本をプレゼントしています。



はちのへ

ふるさと寄附金のご案内

『ふるさと寄附金』で八戸を元気に！

八戸市では、「八戸を応援したい!」「八戸が大好き!」という方々からいただくご寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただいております。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください！



ふるさと寄附金の3つの魅力

1 寄附金の使い道を指定できる

震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。

2 税金が控除(還付)される

控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。(控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。)

3 お礼の品がもらえる

八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。

申込み方法

郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。——→
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

送付先・お問合せ先

広報統計課 ふるさと寄附金担当
〒031-8686 青森県八戸市内丸1-1-1
TEL:0178-43-2319
FAX:0178-47-1485
Email: furusatotax@city.hachinohe.aomori.jp

インターネット

- 下記5つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス



楽天ふるさと納税



ふるなび



JRE MALL



Amazonふるさと納税



八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 大西 伸一郎 [主査] 齋藤 千聖 [事務員] 浜井 章代

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っています。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いします。

また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

